

第56回 SGRA フォーラム

人とロボットの共生社会をめざして 第2回

人を幸せにするロボット

日時： 2017年2月11日（土・休）午後1時30分～午後4時30分

会場： 東京国際フォーラムガラス棟 501 会議室

主催： 渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）

2016年秋、アジア未来会議のランチイベントとして、科学技術と人間円卓会議「人とロボットの共生社会をめざして」を開催しました。この円卓会議には日本、韓国、中国、ロシア、ドイツの研究者が集まり、世界のロボット開発の現状を概観すると共に人とロボットの共生を目指す上での課題が議論されました。今回のフォーラムでは、第1回の会議で提起された課題を、私たちの日常生活に密着した事例を取り上げて「人を幸せにするロボット」について語り合います。

フォーラムの趣旨

近年、ニュースや様々なイベントなどで人型ロボットを見かける機会も多くなってきました。今、私たちの日々の生活をサポートしてくれる「より人間らしいロボット-“Humanoid”-」の開発が急ピッチに進んでいます。一方で、私たちの日常生活の中では、既に多種多様なロボットが入り込んでいる、といわれています。例えば「お掃除ロボット」、「全自動洗濯機」、「自動運転自動車」などなど。ロボット研究者によれば、これらもロボットなのだそうです。では、ロボットとは何なのでしょう？そして、未来に向けて「こころを持ったロボット」の開発がAI（Artificial Intelligence）の研究をベースに進められています。「こころを持ったロボット」は可能なのでしょう？「ロボットのこころ」とは何なのでしょう？この問題を突き詰めて行くと、「こころ」とは何か？という哲学の永遠の命題に行きあたります。今回のフォーラムでは、第一線で活躍中のロボット研究者と気鋭の哲学者が、人を幸せにするロボットとは何か？人とロボットが共生する社会とは？など、皆さまの興味や疑問にわかり易くお答えします。

プログラム

《開会》13:30

総合司会：ラムサル・ピカス（Bikash Lamsal）足利工業大学大学院工学研究科博士課程/情報・生産工学
挨拶：今西淳子（Junko Imanishi）渥美国際交流財団関ログローバル研究会代表

《基調講演》13:40～14:20（40分）

稲葉雅幸（Masayuki Inaba）東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻教授

「夢を目指す若者が集う大学とロボット研究開発の取り組み」

ロボットの研究開発は数十年の歴史があり、工場内から社会生活のさまざまな分野への活躍が期待されています。ロボットで社会貢献の夢を抱く若者が集い、社会へ飛び立ってゆく大学におけるロボット研究開発の取り組みについてご紹介します。

《プレゼンテーション1》14:20～14:35（15分）

李 周浩（Joo-Ho Lee）立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授

「ロボットが描く未来」

SF映画、SF小説、SF漫画、未来の社会を描く物語には必ずと言っても過言ではないくらいロボットが出てきます。本講演では、予測可能な未来を実現させる技術としてのロボットについて、また、そのロボットが現在の社会に与える影響に関する内容を中心に話題を提供します。

《プレゼンテーション2》14:35~14:50 (15分)

文 景楠 (Kyungnam Moon) 東京大学教養学部助教 (哲学)

「ロボットの心、人間の心」

ロボットは人間のような心をもつことができるのでしょうか。それ以前に、心を「もつ」や「もたない」といったことはそもそも何を意味しているのでしょうか。私のプレゼンテーションでは、こういった問題を哲学的な観点から一緒に考えます。

《プレゼンテーション3》14:50~15:05 (15分)

瀬戸 文美 (Fumi Seto) 物書きエンジニア

「(絵でわかる) ロボットのしくみ」

「絵でわかるロボットのしくみ」はロボット工学へのはじめの一步を踏み出すためのガイドブックとして、数式や専門用語を用いずに分野全体の俯瞰を行うことを目的とした書籍です。この本ができるまでの紆余曲折をお話しし、ロボットや科学技術を身近なものとするにはどうしたらよいか、皆さんと考えたいと思います。

【コーヒーブレイク】

15:05~15:20 (15分)

《フリーディスカッション》15:20~16:30

ーフロアとの質疑応答ー

モデレーター：ナポレオン (SGRA)

パネリスト：稲葉雅幸、李 周浩、文 景楠、瀬戸文美 他

《閉会》16:30

閉会挨拶：角田英一 (渥美財団事務局長)

記：フォーラムの内容は、後日 SGRA レポートとして出版します。

講師略歴

<稲葉 雅幸 Masayuki INABA>

1981年東京大学(工学部)卒業 1986年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了 工学博士

1986年東京大学講師, 1989年東京大学助教授, 2000年東京大学教授

現在東京大学 大学院情報理工学系研究科教授, 創造情報学専攻所属

専門分野: ロボティクス、知能ロボットシステムの発展的構成法に関する研究教育に従事

主な著作: ロボット・アトミー (岩波ロボット学講座)

<李 周浩 Joo-Ho Lee>

1993年高麗大学電気工学科卒業 1999年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了 工学博士

2000年日本学術振興会(JSPS)特別研究員, 2002年東京大学ポスドック研究員, 2003年東京理科大学

工学部助手, 2004年立命館大学助教授, 2008年Carnegie Mellon University 客員研究員, 2011年

立命館大学情報理工学部教授, 現在に至る

専門分野: 空間知能化, 知能ロボットなど

主な著作: 「Intelligent Space - concept and contents」, Advanced Robotics, 16/3, pp265-280, 2002

<文 景楠 Kyungham MOON>

2006年東京大学教養学部卒業 2016年に同大学大学院総合文化研究科で博士号を取得
米国ハーバード・イェンチン研究所訪問研究員などを経て、2016年4月から東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構初年次教育部門助教
主な研究分野：アリストテレスを中心とした古代ギリシア哲学と分析哲学
主な著作：「質料を伴わず形相を受容することについて：『デ・アニマ』第2巻12章におけるアリストテレスの感覚論」（『西洋古典学研究』LX、2012年、76-86ページ）など

<瀬戸 文美 Fumi Seto>

2008年東北大学大学院工学研究科バイオロボティクス専攻博士後期課程修了 工学博士
大学院修了後、千葉工業大学未来ロボット技術研究センター(fuRo)主任研究員などを経て、現在は「物書きエンジニア」として研究や執筆活動を行う。その間、人間協調型ロボットの研究をしながら、科学の魅力や研究の面白さを伝える『東北大学サイエンス・エンジェル』の第一期生として、サイエンスコミュニケーション活動を行う
主な著作：『私のとなりのロボットなヒト：理系女子がロボット系男子に聞く』近代科学社（2012）
『絵でわかるロボットのしくみ（KS絵でわかるシリーズ）』平田 泰久（監修），講談社（2014）